

廃エアゾール製品等(スプレー缶など)の処分方法について

平成30年12月16日に北海道札幌市において大量のエアゾール製品の内容物が屋内で噴射され、これに引火したことが原因と見られる爆発事故が発生しました。

この事故にともない50名以上の方が負傷されました。岳北消防本部管内でも、数年前にスプレー缶の誤った取扱い方法による火災が1件発生しています。また、ごみ収集作業中にスプレー缶や使い捨てライターなど可燃性ガスが使用されている製品が原因と見られる車両火災が過去5年間で2件発生しています。

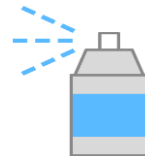


このような事故を起こさないためにも、エアゾール製品(スプレー缶など)は必ず中身を使い切りましょう。

正しいごみの出し方

step 1

スプレー缶の中身を使い切る



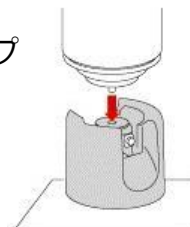
step 2

缶を振って中身が残っていないか音で確認をする



step 3

火気の無い風通しの良い屋外で、ガス抜きキャップを使用してガス抜きを行う



step 4

自治体で定められた処分方法でごみに出す
(※岳北管内では必ず穴を開ける)

